

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公表番号】特表2007-530525(P2007-530525A)

【公表日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【年通号数】公開・登録公報2007-042

【出願番号】特願2007-504496(P2007-504496)

【国際特許分類】

C 0 7 D 233/88 (2006.01)
C 0 7 D 401/04 (2006.01)
C 0 7 D 417/12 (2006.01)
C 0 7 D 403/04 (2006.01)
C 0 7 D 487/04 (2006.01)
C 0 7 D 407/12 (2006.01)
C 0 7 D 401/12 (2006.01)
C 0 7 D 471/04 (2006.01)
C 0 7 D 498/04 (2006.01)
A 6 1 K 31/4172 (2006.01)
A 6 1 K 31/4164 (2006.01)
A 6 1 K 31/454 (2006.01)
A 6 1 K 31/4178 (2006.01)
A 6 1 K 31/5377 (2006.01)
A 6 1 K 31/427 (2006.01)
A 6 1 K 31/4985 (2006.01)
A 6 1 K 31/496 (2006.01)
A 6 1 K 31/4709 (2006.01)
A 6 1 K 31/437 (2006.01)
A 6 1 K 31/5365 (2006.01)
A 6 1 P 25/28 (2006.01)
A 6 1 P 9/10 (2006.01)
A 6 1 P 21/00 (2006.01)
A 6 1 P 25/00 (2006.01)
A 6 1 P 43/00 (2006.01)
A 6 1 P 25/24 (2006.01)
A 6 1 P 25/22 (2006.01)
A 6 1 P 25/18 (2006.01)
A 6 1 P 29/00 (2006.01)
A 6 1 P 9/12 (2006.01)
A 6 1 P 35/00 (2006.01)
A 6 1 P 27/02 (2006.01)
A 6 1 P 11/06 (2006.01)
A 6 1 P 1/04 (2006.01)
A 6 1 P 37/06 (2006.01)
A 6 1 P 37/02 (2006.01)

【F I】

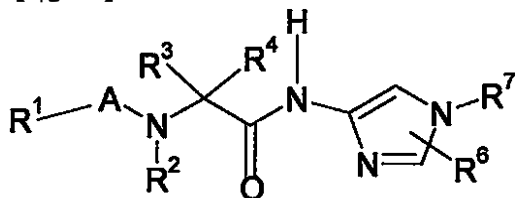
C 0 7 D 233/88 C S P
C 0 7 D 401/04
C 0 7 D 417/12
C 0 7 D 403/04

C 0 7 D	487/04	1 4 4
C 0 7 D	407/12	
C 0 7 D	401/12	
C 0 7 D	471/04	1 0 8 X
C 0 7 D	471/04	1 0 8 A
C 0 7 D	498/04	1 1 2 Q
A 6 1 K	31/4172	
A 6 1 K	31/4164	
A 6 1 K	31/454	
A 6 1 K	31/4178	
A 6 1 K	31/5377	
A 6 1 K	31/427	
A 6 1 K	31/4985	
A 6 1 K	31/496	
A 6 1 K	31/4709	
A 6 1 K	31/437	
A 6 1 K	31/5365	
A 6 1 P	25/28	
A 6 1 P	9/10	
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	43/00	1 0 5
A 6 1 P	25/24	
A 6 1 P	25/22	
A 6 1 P	25/18	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	43/00	1 1 3
A 6 1 P	9/12	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	37/06	
A 6 1 P	37/02	

【誤訳訂正書】**【提出日】**平成19年10月25日(2007.10.25)**【誤訳訂正1】****【訂正対象書類名】**特許請求の範囲**【訂正対象項目名】**請求項1**【訂正方法】**変更**【訂正の内容】****【請求項1】**

式I:

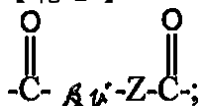
【化1】



I

[式中、Aは、非存在であるか、又は

【化2】



より選択され；

Zは、 $-\text{CH}_2$ 、 $-\text{CH}(\text{OH})$ 、 $-\text{CH}(\text{C}_1 - \text{C}_6 \text{アルキル})$ 、 $-\text{CH}(\text{CH}_2(\text{OH}))$ 、 $-\text{CH}(\text{CH}(\text{C}_1 - \text{C}_4 \text{アルキル})(\text{OH}))$ 、及び $-\text{CH}(\text{C}(\text{C}_1 - \text{C}_4 \text{アルキル})(\text{C}_1 - \text{C}_4 \text{アルキル})(\text{OH}))$ より選択され；

R^1 は、ベンゾ ($\text{C}_3 - \text{C}_8$ シクロアルキル)、ベンゾ ($\text{C}_3 - \text{C}_8$ ヘテロシクロアルキル)、及び $\text{C}_6 - \text{C}_{14}$ アリールより選択され、ここで前記ベンゾ ($\text{C}_3 - \text{C}_8$ シクロアルキル)、及び $\text{C}_6 - \text{C}_{14}$ アリールは、随意に独立して、1～3のハロ原子で随意に置換される $\text{C}_1 - \text{C}_{10}$ アルキル、1～3のハロ原子で随意に置換される $\text{C}_1 - \text{C}_{10}$ アルコキシ、 $\text{C}_1 - \text{C}_{10}$ ヒドロキシアルキル、ハロ、 $-\text{OH}$ 、 $-\text{CN}$ 、 $-\text{NR}^9 \text{R}^{10}$ 、 $-\text{C}(=\text{O})\text{NR}^9 \text{R}^{10}$ 、 $-\text{C}(=\text{O})\text{R}^{11}$ 、 $\text{C}_3 - \text{C}_8$ シクロアルキル、及び (3～8員) ヘテロシクロアルキルより独立して選択される1～4の置換基で置換され；

R^2 は、H、 $\text{C}_1 - \text{C}_6$ アルキル、 $\text{C}_2 - \text{C}_6$ アルケニル、 $\text{C}_3 - \text{C}_8$ シクロアルキル、及び $\text{C}_3 - \text{C}_8$ シクロアルケニルより選択される (ここで R^2 は、随意に独立して、1～3のハロ原子で随意に置換される $\text{C}_1 - \text{C}_4$ アルキル、1～3のハロ原子で随意に置換される $\text{C}_1 - \text{C}_4$ アルコキシ、ハロ、及び $-\text{OH}$ より独立して選択される1～3の置換基で置換される)；

又は、 R^1 と R^2 は、存在する場合のA原子と、 R^2 が付く窒素原子と一緒に、又は R^1 と R^2 は、Aが非存在である場合には、 R^1 と R^2 が付く窒素原子と一緒に、4～8員環を随意に形成してよく；

R^3 は、H、 $\text{C}_1 - \text{C}_6$ アルキル、 $\text{C}_1 - \text{C}_4$ アルコキシ、 $\text{C}_2 - \text{C}_6$ アルケニル、 $\text{C}_2 - \text{C}_6$ アルキニル、 $\text{C}_3 - \text{C}_6$ シクロアルキル、 $\text{C}_5 - \text{C}_6$ シクロアルケニル、及び (3～8員) ヘテロシクロアルキルより選択され、ここで前記アルキル、アルケニル、アルキニル、シクロアルキル、シクロアルケニル及びヘテロシクロアルキルは、それぞれ随意に独立して、 $\text{C}_1 - \text{C}_4$ アルコキシ、ハロ、 $-\text{OH}$ 、 $-\text{S}(\text{C}_1 - \text{C}_4)$ アルキル、 $-\text{O}(\text{C}_1 - \text{C}_4)$ アルキル、及び (3～8員) ヘテロシクロアルキルより独立して選択される1～3の置換基で置換され；

R^4 は、H、 $\text{C}_1 - \text{C}_6$ アルキル、又はハロである；

又は R^3 と R^4 は、それらが付く炭素原子と一緒に、シクロプロピル、シクロブチル、シクロペンチル、シクロヘキシル、モルホリノ、ピペリジノ、ピロリジノ、テトラヒドロフラニル及びペルヒドロ-2H-ピランより選択される部分を随意に形成してよく (ここで、 R^3 及び R^4 により形成される前記部分は、1～3のハロ原子で随意に置換される $\text{C}_1 - \text{C}_6$ アルキル、1～3のハロ原子で随意に置換される $\text{C}_1 - \text{C}_6$ アルコキシ、ハロ、 $-\text{OH}$ 、 $-\text{CN}$ 及びアリルより独立して選択される1～3の置換基で随意に置換される)；

R^6 は、H、 $\text{C}_1 - \text{C}_6$ アルキル、 $\text{C}_2 - \text{C}_6$ アルキレン、 $\text{C}_1 - \text{C}_6$ アルコキシ、ハロ、 $-\text{CN}$ 、 $\text{C}_3 - \text{C}_{12}$ シクロアルキル、 $\text{C}_4 - \text{C}_{12}$ シクロアルケニル、及び $\text{C}_6 - \text{C}_{10}$ アリールより選択され (ここで R^6 の前記アルキル、アルキレン及びアルコキシは

、それぞれ随意に独立して、ハロ及び - CN より独立して選択される 1 ~ 3 の置換基で置換され、そしてここで R^6 の前記シクロアルキル、シクロアルケニル、ヘテロアリール及びアリールは、それぞれ随意に独立して、1 ~ 3 のハロ原子で随意に置換される $C_1 - C_4$ アルキル、1 ~ 3 のハロ原子で随意に置換される $C_1 - C_4$ アルコキシ、ハロ、及び - CN より独立して選択される 1 ~ 3 の置換基で置換される) ;

R^7 は、 $C_1 - C_{20}$ アルキル、 $C_3 - C_{12}$ シクロアルキル、(3 ~ 12 員) ヘテロシクロアルキル、 $C_6 - C_{14}$ アリール、又は (5 ~ 15 員) ヘテロアリールである (ここで R^7 は、随意に独立して、 $C_1 - C_{20}$ アルコキシ、- OH、- $NR^9 R^{10}$ 、及び - $C(=O)NR^9 R^{10}$ より独立して選択される 1 ~ 4 の置換基で置換される) ;

R^9 と R^{10} は、それぞれ独立して、 H 、 $C_1 - C_{10}$ アルキル、 $C_2 - C_{10}$ アルケニル、 $C_2 - C_{10}$ アルキニル、 $C_1 - C_6$ アルコキシ、 $C_2 - C_6$ アルケノキシ、 $C_2 - C_6$ アルキノキシ、- $C(=O)R^{11}$ 、- $S(O)_n R^{11}$ 、 $C_3 - C_8$ シクロアルキル、 $C_4 - C_8$ シクロアルケニル、($C_5 - C_{11}$) ビ若しくはトリシクロアルキル、($C_7 - C_{11}$) ビ若しくはトリシクロアルケニル、(3 ~ 8 員) ヘテロシクロアルキル、 $C_6 - C_{14}$ アリール、及び (5 ~ 14 員) ヘテロアリールより選択される {ここで前記アルキル及びアルコキシは、それぞれ随意に独立して、ハロ及び - OH より独立して選択される 1 ~ 3 の置換基で置換され、そしてここで前記シクロアルキル、シクロアルケニル、ビ若しくはトリシクロアルキル、ビ若しくはトリシクロアルケニル、ヘテロシクロアルキル、アリール及びヘテロアリールは、それぞれ随意に独立して、ハロ、- OH、1 ~ 6 のハロ原子で随意に独立して置換される $C_1 - C_6$ アルキル、 $C_2 - C_6$ アルケニル、 $C_1 - C_6$ アルコキシ、 $C_2 - C_6$ アルケノキシ、 $C_2 - C_6$ アルキノキシ、及び $C_1 - C_6$ ヒドロキシアルキルより独立して選択される 1 ~ 3 の置換基で置換される} ;

又は $NR^9 R^{10}$ は、(4 ~ 7 員) ヘテロシクロアルキルを形成してよく (ここで前記ヘテロシクロアルキルは、N、O 及び S より独立して選択される 1 ~ 2 のさらなるヘテロ原子を随意に含み、そしてここで前記ヘテロシクロアルキルは、1 ~ 3 の二重結合を随意に含有し、そしてここで前記ヘテロシクロアルキルは、随意に独立して、1 ~ 6 のハロ原子で随意に置換される $C_1 - C_6$ アルキル、 $C_2 - C_6$ アルケニル、 $C_1 - C_6$ アルコキシ、 $C_2 - C_6$ アルケノキシ、 $C_2 - C_6$ アルキノキシ、 $C_1 - C_6$ ヒドロキシアルキル、 $C_2 - C_6$ ヒドロキシアルケニル、ハロ、- OH、- CN、- NO_2 、- $C(=O)R^{11}$ 、- $C(=O)OR^{11}$ 、- $S(O)_n R^{11}$ 、及び - $S(O)_n NR^9 R^{10}$ より独立して選択される 1 ~ 3 の置換基で置換される) ;

R^{11} は、 H 、 $C_1 - C_8$ アルキル、 $C_3 - C_8$ シクロアルキル、 $C_4 - C_8$ シクロアルケニル、($C_5 - C_{11}$) ビ若しくはトリシクロアルキル、-($C_7 - C_{11}$) ビ若しくはトリシクロアルケニル、(3 ~ 8 員) ヘテロシクロアルキル、 $C_6 - C_{10}$ アリール、及び (5 ~ 14 員) ヘテロアリールより選択され (ここで、 R^{11} の前記アルキルは、随意に独立して、- OH、- CN、及び $C_3 - C_8$ シクロアルキルより独立して選択される 1 ~ 3 の置換基で置換され、そしてここで前記アルキルのそれぞれの水素原子は、随意に独立して、ハロ原子で置換され、そしてここで R^{11} の前記シクロアルキル、シクロアルケニル、ヘテロシクロアルキル、アリール及びヘテロアリールは、それぞれ随意に独立して、ハロ、1 ~ 3 のハロ原子で随意に置換される $C_1 - C_8$ アルキル、- OH、- CN、及び $C_3 - C_8$ シクロアルキルより独立して選択される 1 ~ 3 の置換基で置換される) ;そして

n は、それぞれの場合において、0、1、2 及び 3 より独立して選択される整数である] の化合物、又はその医薬的に許容される塩。